



事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率 81% (うち用地進捗率 100%)。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・事業の進捗に係る問題はない。
- ・平成 27 年度全線開通予定。

施設の構造や工法の変更等

- ・橋梁上部工形式の変更を通常の綱多主桁から綱少数主桁に変更したことによりコストを縮減。
- ・当初橋梁設置計画からアーチカルバート (プレキャスト製品) を採用したことによりコストを縮減。

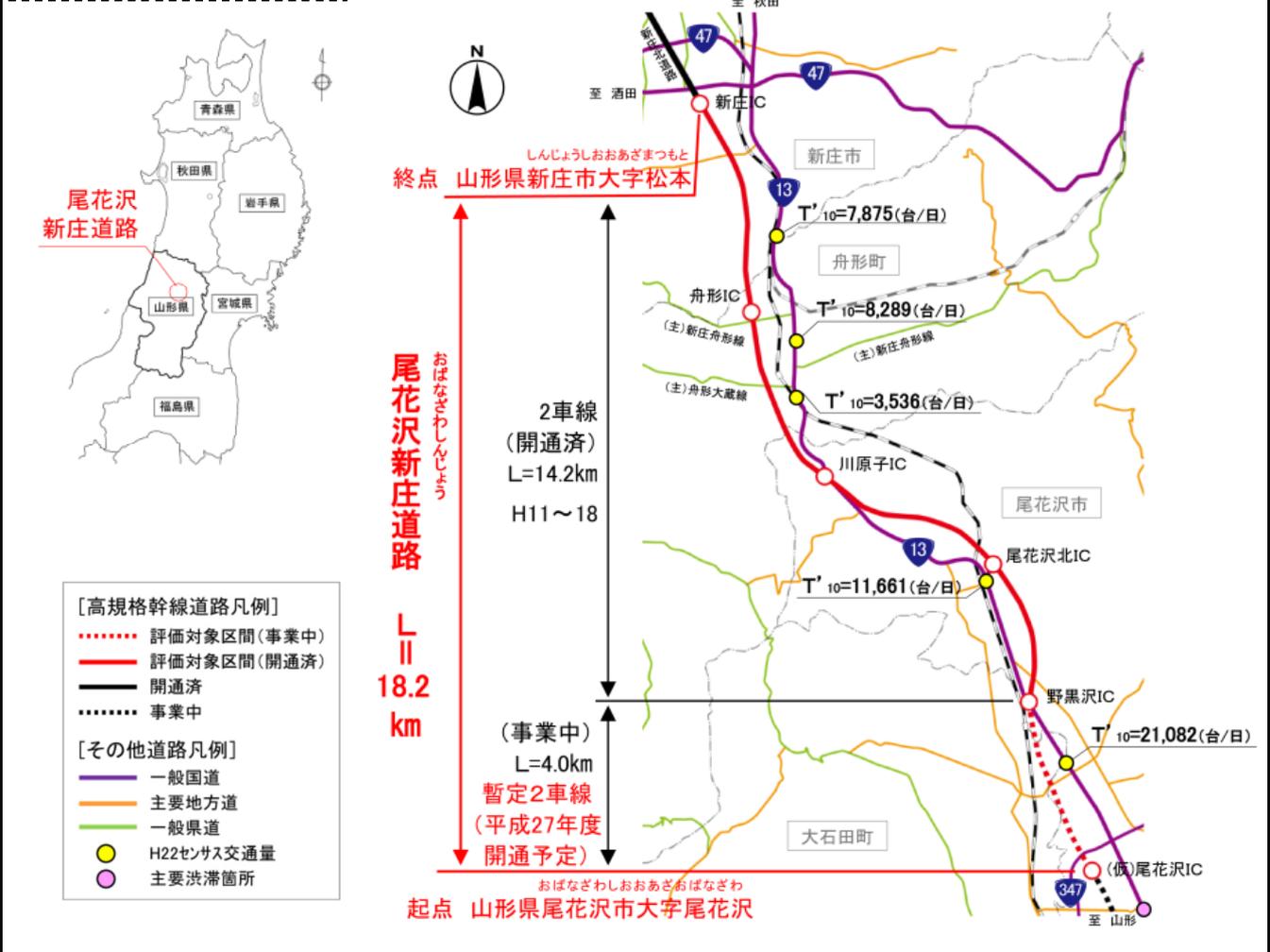
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。